

このような状況から数年來指摘してきたように、早急に民営化を推し進める必要があると思われま

○病院事業

平成17年度の総収益は、9億8千930万円、総支出は10億3千753万円で、当年度純損失が4千823万円

で、この結果当年度未処理欠損金額は1億2千240万円になりました。この会計は、病院で受け取る診療収入等を全て医療、業務の委託費として、地域医療振興協会に支払い、他にも町が一部経営健全化分等を支払う契約になっていること等により、平成17年度は1億5千万円を一般会計から繰入れたものです。現行の業務委託契約上ではこのような決算となることは止むを得ないものと思われま

す。今後も地域医療の核としての責務を充分担いながら、本事業会計の経営の安定、向上に努力されるよう期待するものです。

町長行政報告



湯沢町長 上村清隆

県内の設備投資動向調査によると、景気回復が緩やかに進んでいるとのことですが、一日も早く当町にも波及してこ

ことを願っております。水稲の作況概況ですが、大雪のため田植えが遅れたのですが、その後は天候も安定し、病害虫の発生も少なく、「やや不良」もしくは「平年並み」が予想されています。町内の今夏のイベントでは、加山雄三フィールド音楽祭やフジロックフェスティバルが開催され、合わせて13万5千人の方が来場されました。いずれも湯沢の夏の音楽イベ

ントとして定着していることは喜ばしいことである

7月下旬より町内全域でニホンザルやツキノワグマの出没や農作物への被害が報告されており、巡視や威嚇、捕獲するなどしてありますが、有効な方策が見出せない状況です。

国際交流についてはですが、6月にはアメリカのマグナの子供達13名が湯沢町を訪れ、湯沢町からは7月28日から13日間、湯沢中学校の3年生達がマグナを訪問し、英語力の向上と異文化体験を中心に交流を行ってきま

た。国体に関しては、準備委員会において各専門委員会を立ち上げ具体的な準備を進めるとともに、10月下旬には実行委員会に改組し、大会の成功に

向け取り組んでまいりま

す。行政改革の取り組みですが、平成16年度に財政健全化策の一環として、3年間で5億円の削減方針を立て取り組んでおりますが、更に3億円の削減が必要とされておりま

す。このため定員の見直しや自立プランの策定を行い、合併しない町の方



夏の音楽イベントとして定着した加山雄三フィールド音楽祭